

RPGについて



防災 サバイバル SURVIVAL

いつ、どこで、誰と、何が起きても
その場の状況判断で生き残れ!

帰宅サバイバル

完了目安
約5分

避難サバイバル

完了目安
約7分

主催：東京都総務局総合防災部
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1



Q1

首都直下地震などが発生し、東京が被災地となった場合は、路上なども大変危険な状態となります。注意すべきことを全て選んでください。

正解は全てです

看板やガラスなど頭上からの落下物、
道路に人があふれ通行出来なくなる
緊急車両の発生、
同時多発的に生じる大規模な火災、
群集雪崩による被害の発生

こういう状況になりますので、歩いて帰るのはやめましょう。





Q2

外出中に被災し、帰宅困難となった場合、基本的な考え方として正しいものはどれでしょうか。

正解は3です

最寄りの「一時滞在施設」を探して泊めてもらうのがよい

災害直後の徒歩帰宅による混雑で救出救助活動が滞ったり、帰宅困難者が二次災害に遭うリスクがあります。外出時に頼る先は「一時滞在施設」、行き場のない帰宅困難者を3日間程度受け入れる施設です。そのための備蓄品なども備えてあります。



なお「避難所」は、自宅が被災するなどして生活ができなくなった「地域住民」の方等が身を寄せる場所となります。



Q3

災害時に家族の安否が分からないと、無理にでも徒歩帰宅をしたくなりますので、安否確認は重要です。どのような手段が適切でしょうか。

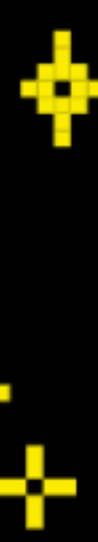
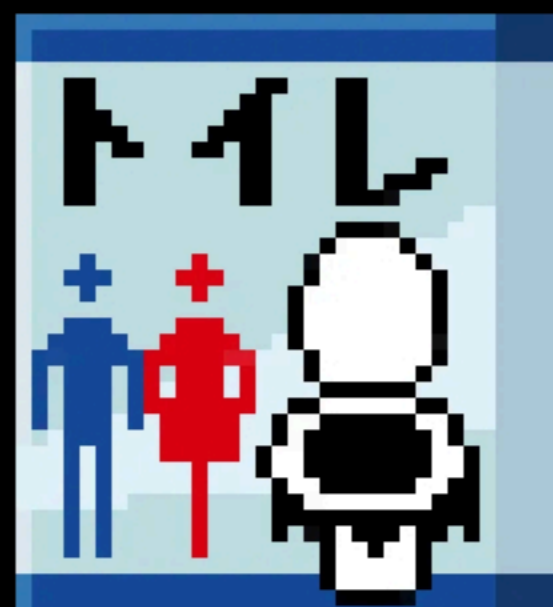
正解は1です

安否確認はスピード重視、スマートフォンアプリのSNS等を使うのがよい



災害時には電話回線を維持するために通信規制が行われます。電話以外の手段を使うのがよいでしょう。つながりやすいのはスマートフォンによるインターネットですが、回線を圧迫しないよう、音声通話やビデオチャットの使用は控え、テキストなどでやり取りするのがおすすめです。各通信会社の提供する災害時伝言サービスも事前に確認しておくといよいでしょう。

正解を理解したあなたは
防災アイテムをゲット！



『非常用トイレ』

電車やエレベーターに閉じ込められている最中などに、尿意を催したときのため『小使用の非常トイレ』を。実際に人前で使えるかどうかはその場にならないとわかりませんが、ないと不安なので、『お守り』として持っておきたいですね。



Q4

非常時に使用できるWi-Fiサービスとして、「00000JAPAN」が整備されています。この活用について正しいものはどれでしょうか。

正解は2です

事前登録などは不要で、どこでもWi-Fiを使用できる

非常時のネット提供が目的になるため、事前登録やキャリアの縛り無く使えます。ただし、大規模な停電などが発生するとWi-Fiルーターなどがダウンするため、あらゆる状況で使用し続けられる訳ではありません。



FREE Wi-Fi

**災害用統一SSID
00000JAPAN**



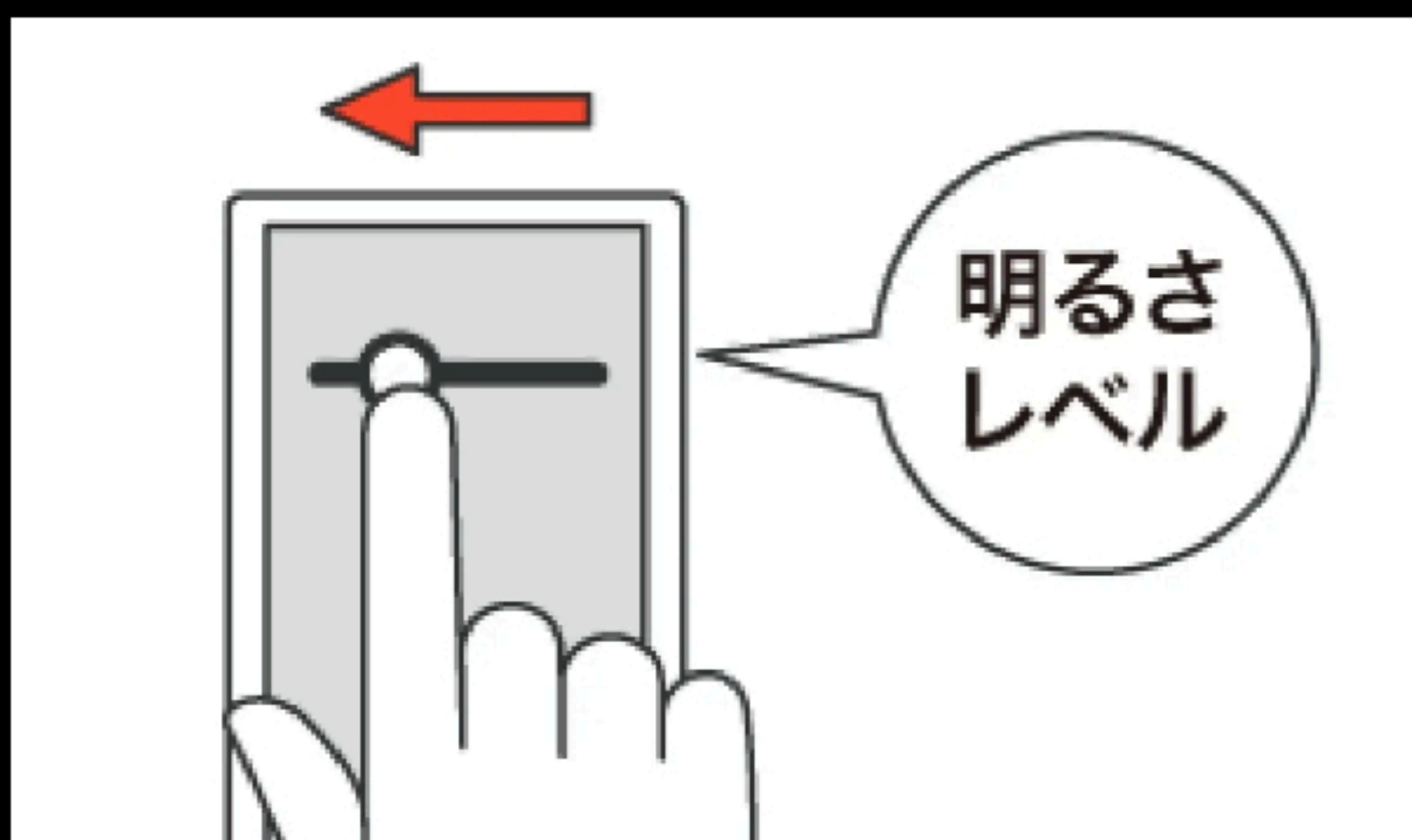
Q5

平時にも災害時にも重要なスマートフォンですが、充電を持たせることが重要です。バッテリーの節約方法として適切なものはどれでしょうか。

正解は3です

画面の明るさを暗めに抑える

①も有効ですが緊急地震速報や通知も送られてこなくなるため、電波が拾えているならばONにした方がよいです。②にそれほど意味はなく、スマートフォンの「バッテリー節約モード」などにすればよいです。明るさを抑えるのは大変効果があります。





Q6

発災から3日目以降になると、コンビニやガソリンスタンドなどが、徒歩帰宅者を支援してくれると聞きました。この「災害時帰宅支援ステーション」で受けられる支援はどれでしょうか。

正解は3です

可能な範囲で、水道水の提供やトイレの貸し出しが受けられる



非常時でも有料の商品は有料です（店舗ごとに独自支援をすることはあるかもしれませんが、基本は水道・トイレ・道路情報の提供などに限られます。）。



Q

地震や風水害などの自然災害時に「危険な所にいる人は全員逃げましょう！」を意味するのが「避難指示」ですが、これは誰が誰に向けて発表する情報でしょうか。

正解は3です

区市町村長が居住者や滞在者等向けに発表する情報

避難情報は自治体（区市町村）の長が、居住者や滞在者等に対して出す情報です。避難に時間がかかる人に避難開始を促す「高齢者等避難」や、危険な場所にいる人全員に避難開始を促す「避難指示」などがあります。

5	緊急安全確保※1
警戒レベル4までに必ず避難！	
4	避難指示※2
3	高齢者等避難※3
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報(気象庁)

なお、自宅に留まっても災害の影響を受けないと想定される場合は、自宅に留まって構いません。事前に区市町村で作成しているハザードマップを確認をしておきましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される警報ではありません。※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。※3 警戒レベル3は、高齢者以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

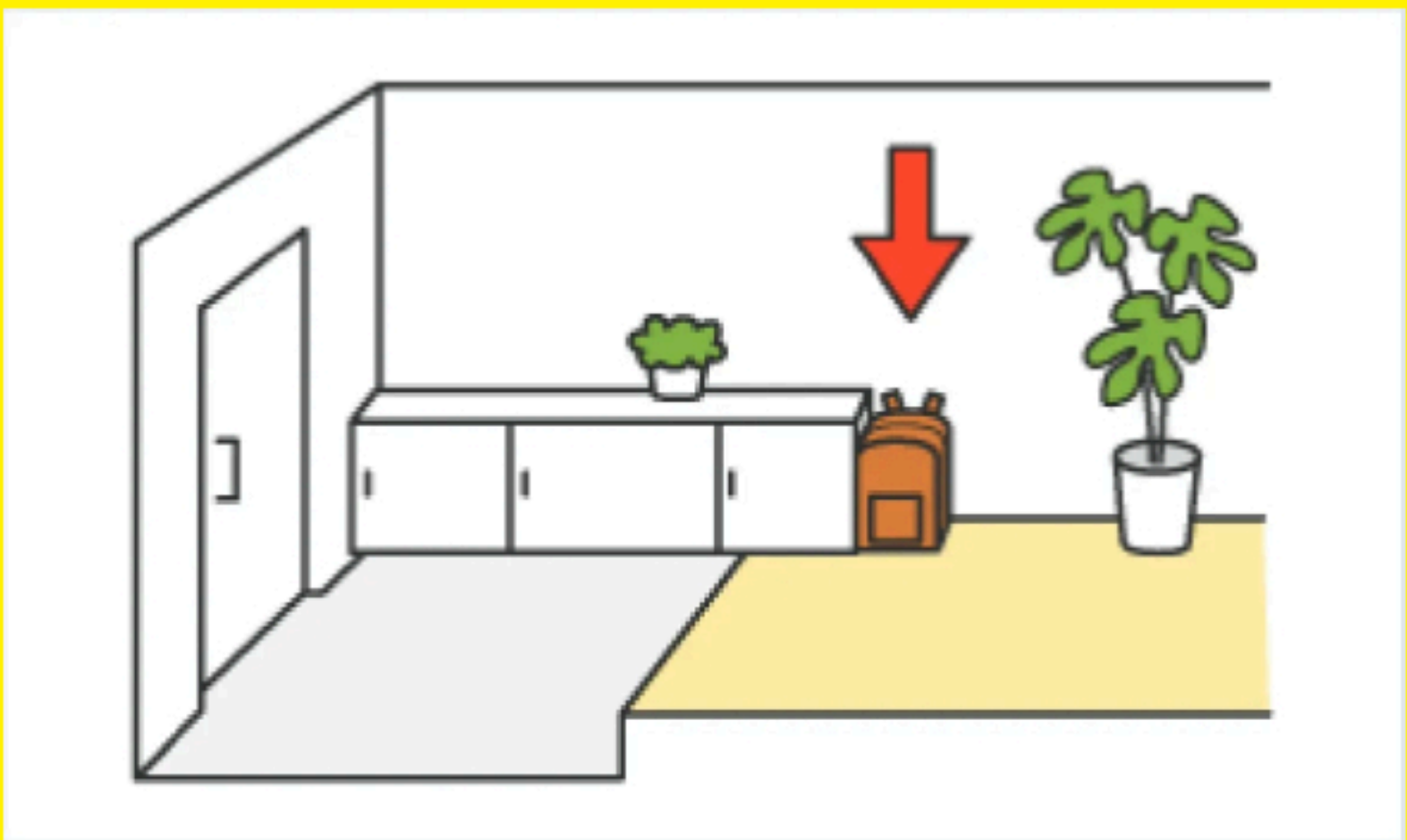


Q

素早く安全に避難を行うための準備として、非常持ち出し袋（防災リュック）を用意することは重要ですが、正しい考え方はどれでしょうか。

正解は2です

玄関などに置くのがよい



非常持ち出し袋は、すぐに持ち出して避難を始められるよう、玄関や廊下付近に置くのがおすすめです。押入れやクローゼットの中にしまうと、大地震で取り出せなくなったり、入れたことを忘れてしまったりしてしまうため、取り出しやすい場所に設置しましょう。